

# 伝承 あすか

## 第二十六号

### 明日香村伝承芸能 後継者への願い

明日香村伝承芸能保存会

会長 脇田初枝

昨年五月の総会時より、岡崎義男前会長様の後を引き継ぐことになりました。私は、その重責に、今だに戸惑っております。

この二年間、コロナウィルス感染拡大防止のため、いろんな行事が中止になって、大変残念な思いをして参りましたが、令和四年度はウィズコロナということで、行事・催し物などが再開され、六月十九日は芸能大会、七月三日〜五日は美術展、そして十月二十三日は芸能大会、十月三十日〜十一月一日は美術展と明日香村文化祭は二度開催されました。伝承芸能保存会会員の皆様も久し

振りの公演に、大いに力量を發揮なさったことと思います。

さて、「八雲琴」「南無天踊り」「飛鳥蹴鞠」

「萬葉朗唱」の四部門それぞれに、後継者育成が課題になっていきますが、少しずつ増えている部門、減っている部門などがあり、将来へ伝承していくためにも、こどもを含めた若い世代の方々の入会が切実な願いになっております。

「八雲琴」の方は、平成十五年度に財団法人伝統文化活性化国民協会(当時の会長は故平山郁夫氏)のこども教室に申請、採択され、以後十六年度から二十一年度まで毎年申請し、採択されて、こども達の育成事業に助成を受け、「明日香村伝承芸能保存会・こども教室」として今日まで指導育成がなされていきます。当初は「南無天踊り」「飛鳥蹴鞠」も、こども教室として指導をしておりました。

こども教室は奈良県内、他のこども教室グループと共に、NHK

主催の『伝統文化こども教室フェスティバルinなら』(於奈良県新公会堂)に参加出演をし、その後二十年十二月から「奈良伝統文化和みフェスティバル」現「奈良こども伝統文化協会(藤間巡子会長)」として、年二〜三回の公演に参加出演しています。

「南無天踊り」はこども達が数名大人と一緒に練習をしていて、上手に力強く踊っています。内一名は笛を吹きたいと希望し、その指導もすることにしました。

「飛鳥蹴鞠」はこども達へ公開指導で、衣装を着装しての体験学習などをしていきます。

「萬葉朗唱」はこども教室として数名のこども達が万葉集を朗唱したり、勉強していました。が学年が上になって、現在は大人のみになっています。将来、こども達にも指導する予定であり、その準備もしています。

明日香村伝承芸能保存会では、明日香村の伝承芸

能を多くの人達に、なお一層知っていたら、継承をしていくことも達への応援をしていただけるよう努力を続ける所存でございます。

皆様に「フレー！フレー！あすかつ子」と言って、応援していただけると有難いなどの思いでございます。



「奈良子こども伝統芸能保存会」 奈良100年会館・令和5年2月26日

やくもこと

# 八雲琴

## 八雲琴

島田彩名

私が初めて八雲琴にさわったのは小学校低学年ぐらいで、その時までは八雲琴の存在すら知りませんでした。その時は、この二本の弦の押さえる位置を少し変えるだけで、声より高い音から低い音など色々な音に変わっていくのがすごいなと思いました。

小学校四年生になると、水曜日の六時間目にクラブ活動があって、そこで八雲琴を演奏することができました。だから、六年生の時に八雲琴をすることにしました。小学六年生だと学校内でもクラブ内でも一番上なので、曲の前に言う三礼を言いました。演奏は自分なりにがんばりました。そして、三月に演奏会が公民館であって、それに向けて日々がんばっていました。しかし、年が明けて少したった日、日本にコロナウイルスがやってきました。イベン

ト縮小や延期、中止があり、ついには学校も休校になりました。八雲琴のイベントも中止となり、衣装を着る前に断念することになりました。残念な思いが残ったまま、中学に進学しました。

その時、中学でも八雲琴をすることができると知りました。衣装を着て、イベントに出場できると思うと本当にうれしかったです。実際に出場してみると、そこまですら緊張せずに演奏することができました。

二年生の時の聖中祭に演奏し同級生と共に演奏した時間はとても楽しく、伝統を感じる貴重な時間でした。そんな時間を過ごせたのは、いつも支えてくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

### 八雲琴の練習を通して

山口心翔

私は中学に入ってから初めて八雲琴をしました。私は小学校からしていた子や、小さい頃からしている子とちがって、八雲琴のことをぜんぜん知りませんでした。



私が初めて演奏した曲「さくら」でも、どこを押さえると、この音が鳴るなど、ぜんぜん分かりませんでした。それに、他の二人は経験者なので、他の曲もすらすら弾けていたけれど、私はまだスタートラインにも立っていない状態だったので、とてもあせっていました。ですが、友だちに教えてもらったり、先生にここをどうする

のかを聞いたりしたので、できることが増えました。

「管搔六段曲」・「月花」はテンポが変わったり、歌があたりだったので、ツボを押さえるのが間に合わないことがありました。歌は琴と両立することができなくて、歌を歌うと、手の方を間違えていました。でも、無事に演奏を終わらせることができました。

三年生になると、「明日香風」や「奈良の都」など難しい曲にチャレンジしました。そして聖中祭で「管搔六段曲」・「奈良の都」を演奏しました。「奈良の都」は昨年と違う曲で、「月花」よりもテンポが速くなったところから、楽譜を見る時間がなくて、ついていくのに必死でした。でも、友達に教えてもらって、できるようになりました。最後に、私は八雲琴をしていてぜんぜん分らないことだらけで心が折れそうになったことが、たくさんあったけど、とても楽しかったです。そして、八雲琴をしてよかったと思いました。先生方、ありがとうございました。



### 八雲琴

#### 赤松里咲

私は、八雲琴を始めて九年になります。

母が習っていたのがきっかけで、五歳の時から母のお稽古について教室に行き、隣で音色を聞きながら、ツボやうたを口ずさんでいました。

一年生になり、八雲琴に入会させていただきましたが、身体も小さくて、爪も転管も指に合うものがなく、父にホースで爪と転管を作ってもらいました。その時

は、これでやっと八雲琴を弾けるんだと思いい、とてもうれしかったことを覚えています。

それから私は、毎週土曜日のお稽古がとても楽しみで、一つ曲が弾けるようになる度、もっともつと上手に弾けるようになりたという思いがますます強まりました。

また、大きなイベントや有名な寺社、能舞台などたくさんの方の舞台で演奏する機会を与えてくださり、貴重な経験をさせていたいただくことができました。

多くの人前での演奏はとても緊張しますが、みんなで心を合わせて、美しい音色で弾けた時の喜びは大きかったです。その達成感、私自身の成長にもつながりました。

私は、優しい先生方や素敵な先輩方に恵まれて、関わりを持つことで、八雲琴以外の事も、たくさん学ぶことができました。

また、中学校の明日香学では、先輩として、後輩に教える難しさも初めて実感し、苦労もありました。

高校生になったら、忙しくなり

ますが、これからも続けて、八雲琴の活動に、できる限り参加したいです。

そして、明日香村伝承芸能である八雲琴の魅力を、多くの人に伝え、広めていきたいです。

最後になりましたが、八雲琴を教えてくださいださる先生方、本当にありがとうございます。これからも、よろしくお願い致します。

八雲琴の詳細は、次のQRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



## あすかけまり 飛鳥蹴鞠

### 令和五年度公演予定

十一月・里山あそび秋

その他、修学旅行や遠足などの蹴鞠体験受け入れを行っています。

飛鳥蹴鞠の詳細は、QRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



### 明日香村伝承芸能保存会

#### の定例公演について

明日香村伝承芸能保存会は主に「奈良県立万葉文化館」にて、年に六回(四・五・六・九・十・十一月)各月の土曜日毎に定例公演を実施しています。

日時 午後一時半～二時十分

第一土曜日 飛鳥蹴鞠

(高松塚公園、又は石舞台公園)

第二土曜日 万葉朗唱(玄関前)

第三土曜日 八雲琴(館内ロビー)

第四土曜日 南無天踊り(玄関前)

※八雲琴以外は、雨天中止

#### 「万葉朗唱」定例公演

##### の練習について

次の日程で、定例公演の練習をしています。(会費無料)

毎月一回 第一木曜日

時間 午後一時半～三時半

場所 明日香村中央公民館

二階研修室③

まんようろうしよう

# 万葉朗唱

## 万葉朗唱との出会い

明日香万葉朗唱

的場真理

五・七・五・七・七の三十一音五句で詠まれた和歌の事を、短歌と呼ばれています。万葉集の中の約四二〇〇首は短歌の形で詠まれています。

奈良時代には既に短歌をさまざまの階層の男女が作り、うたっていた事に大変驚きました。

万葉集の歌はおおらかで、新鮮なことはとりずむが感じとられ、さらに、ことばに神聖な言葉の響きを知ることが出来る和歌ではないでしょうか。

さて私が明日香村内の広範囲に点在する、様々な遺跡・古墳・石造物・社寺・古代の原風景にふれ、飛鳥めぐりをしてきた時、出会ったのは多くの万葉歌碑でした。いったい何が刻まれていて、どのようによりのか解らない歌碑があり、解らない自分が恥ずかしくなりました。

歌碑は社寺や道沿い、川沿いにもあり、万葉時代の人々が、ここで詠まれた歌を、少しでも解りたいと思いました。

ある時、万葉文化館で出会った、明日香万葉朗唱の方に伺うことが出来て、入会させていただく運びになりました。

そして、万葉集を声に出してよむことで、いつのまにか万葉歌碑がよめるようになり、何か心地よいリズムを付けて歌うことで、口誦できるようになり、すらすらと二・三首歌うことが出来ないました。

万葉集は日本の文化の誇れる物の一つであると思います。

コロナが収束し、海外の方々が日本に訪れた時、日本の文化について尋ねられたら、万葉集四五〇〇首のうち、いくつかでも答えられることが出来たら、きっと、尊敬され、素晴らしい交流が生まれるはずですよ。

## 万葉朗唱と出会って

明日香万葉朗唱

塩川千月

明日香万葉朗唱に入会し、私が一番初めに定例公演で朗唱し

たのは高市黒人の歌でした。

何処にか 船泊てすらむ 安礼の崎 漕ぎ廻み行きし 棚無し小舟 (巻1-58)

深い意味を知らずとも、情景が浮かぶような気がして、聴いて下さる方に、そのイメージが伝わるように意識して、朗唱した記憶があります。今でも、歌の持つ世界観を表現したいという思いは変わりません。

柿本人麻呂や額田王など、華々しく活躍した歌人の歌はやはり秀逸ですが、私が興味深いのは作者未詳の歌です。どんな人が、どんなシチュエーションで詠んだ歌なのかを想像する楽しさがあり、最近では好んで朗唱しています。

明日香川 明日も渡らむ 石橋の遠き心は 思ほえぬかも (巻11-2701)

この歌は特に気に入っている歌です。歌いこんで自分の持ち歌の一つにできるよう、繰り返し練習しています。

明日香村の随所にある万葉歌碑の前ではもちろんのこと、移動中の車の中や、家事をしている時も、ふと気づけば朗唱している自分があります。万葉集を身近で楽



「奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」 令和5年1月29日 奈良コンベンションセンター

しいものにしてくれた明日香万葉朗唱に感謝の気持ちでいっぱいです。

練習や定例公演に参加できないことが多くありますが、これからも勝川先生や会員の皆さまと楽しく歌っていきたいと思っています。

万葉朗唱の詳細は、QRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



なもておど

# 南無天踊り

「地元の芸能」に触れる喜び

前田真由子

明日香小学校 四年生

前田泰岳

明日香小学校 二年生

前田耀平

冬の間はピリツとした寒さが続き、私の住む稲渚大字は久しぶりの大雪に見舞われました。

コロナウイルスの終息宣言はまだまだですが、感染対策を講じたイベントが開催される機会は徐々に増えてきたように思います。

新しい年が明けた一月、伝承芸能保存会の皆さんと一緒に、奈良の冬の一大イベント「大立山まつり」に出演する機会を頂きました。「南無天踊り」に加えて頂いて一年、まだまだ初心者丸出しの私たち三人も、同じバスに揺られて奈良市内のコンベンションセンターへ向かいました。会場は奈良県下の市町村のPRブースが立

ち並び、各地の盆踊りやステージパフォーマンスが次々と披露されて大変賑やかでした。「南無天踊り」は五部構成なので二十分もの上演時間ですが、「ストーリー仕立てで次々と場面や衣装が変わり、常に新鮮な面白さがあった！」との感想をお客様から頂きました。踊り終えた時には『日本一！』の声がかかり、村外の方々に先輩方の素敵な歌唱や踊りを見て頂けた嬉しさで思わず顔が綻びました。



私は明日香村に越してきて、今年で六年目になります。歌舞伎や文楽が好きで、長唄奏者として舞台上に立っていた経験から、地域の祭りやお雛子の音楽には言葉にできない高まりを感じてしまいます。明日香村には盆踊りがなかったので、「南無天踊り」のことはずっと気になっていました。私たち家族が暮らす稲渚でかつて踊られていたこと、いつも大字の秋祭りでお参りしている神社に所縁があること…『地元の芸能』を子供と一緒に楽しむことは、学生時代に様々な古典芸能に携わった私のひそかな憧れでもありました。

念願叶って昨年の三月、同じ大字の寺西和子さんを通じて「南無天踊り」の練習を見学することができました。お話を基にして作られた単調な動きかと思え

ば、大字の名前が次々と並び、とても面白い歌が歌われ、クライマックスで胸の前に結えた太鼓を



打ち鳴らしながら、キビキビと  
移り変わるフォーメーションには  
圧倒されました。

私たち三人も、まずは簡単な  
「鐘」と農民の踊りから教えて頂  
き、五月の万葉文化館での定例  
公演から出演となりました。

いつも暖かく見守って下さる先  
輩方のおかげで、子供たちもメロ  
ディーを覚えて、練習に付いて来  
てくれています。

先日、長男はかねてから挑戦  
したかった笛に手を挙げました。  
練習用の笛を頂き、家に持ち帰っ  
てウキウキで吹こうとしました  
が、やはり音は出ず…「酸欠で頭  
がいたい」と大変苦戦していま  
す。

こうして、少しずつ色んな経験  
を重ねながら、子供時代の思い出  
の中に「南無天踊り」が残ってい  
くことが私の喜びです。

いつも様々なご配慮とご支援を  
頂く大先輩の皆様に、この場を借  
りて心よりお礼申し上げます。

南無天踊りの詳細は、QR  
コードをスマホなどのカメラ  
で読み取り表示して下さい。



# たまゆら

## 伝承芸能保存会に寄せる

伝承芸能保存会顧問

勝川喜昭

伝承芸能の会長を受けまし  
たのは定年退職の二年前、六十  
三歳の時でした。

文化協会からの依頼があり  
ましたが、芸能活動は私には全  
く無縁の事でもあり、不安が  
いっぱいでした。

### 明日香小学校にて初公演

最初に明日香小学校で、伝  
承芸能鑑賞会を開きまして、  
「八雲琴」の演奏を聴いてもらい、  
八雲琴はどのような楽器か、ど  
のようにして音を出すのか、先  
生方に説明していただき、小  
学生にも習ってもらおうようにお  
話しさせていただきまして、三  
年生数名が八雲琴を習いに来  
てくれることになりました。

### 観光客向けに定例公演

芸能は、誰かに見てもらってこ

その芸能であると思います。

幸い明日香村には観光客の  
方々、特に民宿のお客様方に見  
て貰おうと、午後八時から、中  
央公民館で、四部門の公演を実  
施しました。

民宿オーナーのお気遣いも  
あって、沢山の観光客の方々が  
来られました。

公演会を重ねるうちに、公民  
館の近くの民宿のお客様が、帰  
り道で一時間以上も道に迷わ  
れた事が、二度もあり、これは  
大変だと言うことで、伝承芸能  
保存会が、送り迎えをすること  
になりました。また、バスを  
チャーターして送り迎えしたこ  
ともありました。

その頃、公民館の会場費が有  
料になり、無料の会場を他に考  
えなければならなくなり、明日  
香村健康福祉センター「たちば  
な」の二階の畳の部屋で、公演す  
ることになりました。

この会場での公演は数年続き  
ましたが、客数も減ってきました  
たので、これを機に会場を、万  
葉文化館の西出入り口に移築



福井市酒生地区「遺跡まつり」平成20年7月

された、茅葺き屋根の「真神荘」  
に変更し、飛鳥蹴鞠を除く三  
部門の定例公演を開催しまし  
た。

「真神荘」は伝承芸能の公演  
に相応しい雰囲気、マスコミの  
取材も増えたように思います。

### 定例公演を県立万葉文化館で

その後「真神荘」の建物の老朽  
化で、公演場所を失い、苦慮し  
ている時に、「奈良県立万葉文

化館」のご厚意で、「南無天踊り」と「万葉朗唱」は玄関前を、「八雲琴」は館内のロビーを、無償で使わせていただけるようになり、定例公演は無事に存続しています。

### 八雲琴が、ポーラ文化財団から「伝統文化ポーラ賞」受賞

平成十七年に明日香の響き保存会の八雲琴が、ポーラ文化財団から「伝統文化ポーラ賞」を受賞しました。



福井市酒生地区交流 平成 16 年 10 月 10 日

全日空ホテルでの演奏と表彰式には、当時明日香村伝承芸能保存会副会長の脇本澄子氏が「明日香の響き」のメンバーと同行し、東京へ向かわれました。(故)小西弘一村会議員夫妻と私は、車で東京へ向かいました。

奈良県出身の国会議員さんも御出席いただいた、この盛大な催しは、十八年も前のことです。

### 福井市酒生地区にて 八雲琴・劇団「時空」が公演

また平成十六年十月九日、十日に開催された「住みたくなるまちづくり全国大会交流大会」で、福井市酒生(さきこう)地区の桜川幸夫(21世紀わがまち夢プラン酒生地区委員)のお招きで、明日香村は上山好庸(写真家・劇団「時空」主宰)、前田順子(八雲琴)、新子信子(明日香村地域振興公社)、勝川喜昭(明日香村伝承芸能保存会)の各代表と、八雲琴・劇団「時空」の数名が招待されました。

翌日、酒生小学校での歓迎シンポジウムに参加し、八雲琴と

劇団「時空」が公演をいたしました。

また別の機会に、福井市のお祭りの時に、吉田宏、岡崎義男、勝川喜昭が、招待頂きまして、恐竜博物館等見学し、楽しんで頂きました。

後日、福井市酒生(さきこう)地区の桜川幸夫様御一行の四十三名の皆様が、バス一台で明日香村へ、ご訪問頂きました。

天理教岡大教会で宿泊されました時は、(前)明日香村長関義清氏と保存会の会員とで、歓迎会を催し、旧交を深めました。

### 広報誌「伝承あすか」を発行

伝承芸能の披露は、年に六回の定例公演で観光客にご覧いただくのと、明日香村文化祭や公民館祭、奈良県での催しの際に公演するだけなので、この活動を皆さん方に知っていただき、後世に伝えていくために、広報誌「伝承あすか」を発行しました。

また、定例公演のビデオ映像を残して、機会ある毎に観ていただくことが大事だと思います。



勝手に神社踊り 平成 30 年 10 月 15 日

### 「雨乞い踊り」は希少な存在

近畿地区で現在も保存活動をされている『雨乞い踊り』を選んでご紹介します。

伊賀市山畑の勝手神社の「神事踊り」は、昭和三十八年、三重県の無形民俗文化財に、昭和四十六年には国の無形民俗文化財に指定されました。また、平成三十年に国の重要無形文化財に指定され、その後、令和四年にユネスコ無形



京都府南山城村「田山花踊り」 令和元年 11月3日

文化遺産に登録が決定されました。公演は毎年十月第二日曜日。

京都府南山城村の「田山花踊り」。公演は十月三日(祝)の予定。

大柳生山口神社「太鼓祭り」。奈良県の無形民俗文化財。踊り子不足で、平成二十四年から休止していましたが、最近中学生二十四名が、復活を目的して練習に取り組んでおり、本年九月二十八日、中学

校の体育館「ふれあい広場」で披露される予定。

奈良市月ヶ瀬区石打「石打太鼓踊り」。

天理市大和神社の「紅しで踊り」は、天理市の無形民俗文化財指定。毎年九月二十三日。

宇陀市室生区大野海神社「いさめ踊り」は、雨乞いの祈願成就のお礼や、豊作への感謝の踊り。宇陀市の無形民俗文化財。祭りの最初は中学生が演じて、祭りの継承ということ

ことで、指導する大人も一緒に楽しめます。祭りの最後は巫女さん達の踊りも披露されます。十月三日曜日。

生駒郡安堵町「なもて踊り」。飽波神社雨乞いのお礼。十月二十一日。(2014記述)

王寺町畠田火幡神社「ナモテ踊り」等、現在休止?されているもの、あるいは無くなったものも沢山あるようです。

明日香村の伝承芸能保

存会も、当初から明日香村の人口では四部門の芸能の存続は厳しいと思っておりますし、近隣市町からの応援が無ければ、継承保存が難しいと思っております。幸い、橿原市、桜井市の方々からも応援をいただいております。

現在はすべての部門において高齢化が進み、小学生、中学生の参加で、光が見えている部門も有ります。「南無天踊り」にも、お母様と小学生兄弟が参加してくれて、本当に楽しみなことです。

教育委員会からも力添えをいただいて、小中学校の「あすか学」の中で伝承芸能を学ぶ時間をとっていただいておりますのが、大変心強いことです。

### 「南無天踊り」を明日香村の無形文化財に!

これを機に、明日香村伝承芸能保存会の長年の宿願であります「南無天踊り」を、村の無形文化財として、指定を受ける「要望書」を、村長・議長宛てに提出して頂けるように、お願い致します。

以前八雲琴の明日香村無形文化財の指定要望書を、当時の村

長と議長宛てに提出した控えが残っています。

「さて、八雲琴に付きましては、わが国古来の楽器として伝わり、飛鳥寺住職(故)山本震琴氏(国無形文化財指定)に師事し、師が昭和六十三年に亡くなられた後も残された資料をもとに研鑽を重ね、伝承芸能として小、中学生をはじめ若い世代の後継者育成にも取り組み、その活動に対して平成十七年第二十五回伝統文化ポラ賞受賞する等、国内でも認められている。

そこで、明日香村伝承芸能保存会では『八雲琴』を村の無形文化財として指定をするよう要望する。(以上は、要望書の一部) この当時から「南無天踊り」が、現在まで継承存続して来た事実が、村の無形文化財としての指定を受ける重要な条件になります。

「伝承あすか」第二十六号  
発行 令和五年五月  
明日香村伝承芸能保存会  
会長 脇田初枝  
編集 明日香村伝承芸能保存会  
題字 「伝承あすか」勝川喜昭書